

科目名	保健体育	英語科目名	Physical Education
開講年度・学期	平成 27 年度・前期	対象学科・専攻・学年	2 年 物質工学科
授業形態	実技および講義	必修 or 選択	必修
単位数	2	単位種類	履修単位 (30h)
担当教員	嘉門良亮	居室 (もしくは所属)	
電話	内線 185	E-mail	t-nagata1094@小山高専ドメイン
授業の到達目標	授業到達目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標(JABEE)	JABEE 基準
1. バレーボールのルールを基にネット型球技を実践することができる。また、個人的技能を身につけてチーム全員でボールをつなぐ協調性を感じ、発揮することができる。	⑥		
2. ソフトボールのルールやマナーを基にベースボール型球技を実践することができる。また、自らの個性に合わせて、チーム内での役割を果たす事ができる。	⑥		
3. 泳法を習得し、50m以上を泳ぐことができる。より速く、美しく泳ぐための工夫を考察し実践できる。	⑥		
4. スポーツおよび保健の知識について理解・説明することができる。	⑥		
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
1-2. 授業時間中に記録するゲーム記録表または個人ワークシートの内容から総合的に評価する。			
1-3. 練習およびゲーム・記録測定時のプレー内容・競技記録・スキルチェックから総合的に判断し評価する。			
4. 必要に応じて出題したレポート課題などから総合的に評価する。			
評価方法			
1. 実技点 (スキルチェックおよび競技記録, ゲーム・記録測定時のプレー内容): 40%			
2. 授業態度 (遅刻, 忘れ物, 服装, 授業への積極性など): 50%			
3. レポートおよび課題, 授業中のワークシートなど: 10%			
授業内容			
●授業のガイダンスおよび保健【1週】			
①健康とスポーツ・運動の関係について			
●バレーボール【6週】			
①バレーボールの競技特性, ルール等の確認 [1週]			
②パス・レシーブ・サービス・スパイク・レシーブ スキル練習 [2週]			
③ゲームの仕方および審判法 [各週]			
④スキルチェック (トス・スパイク・レシーブ) [1週]			
●ソフトボール【5週】			
①種目の概説と体験, ルール等の確認 [1週]			
②T打撃・トス打撃・シート打撃・守備, [2週]			
③ケース打撃・守備, [2週]			
④実践形式ゲームでのスキルチェック (打撃・守備) [各週]			
●水泳【2週】※バレーボールと合わせて行う場合がある			
①四泳法の練習 (型の習得と速さの追求) [2週]			
●新体カテスト【1週】			
※以上の授業内容は、天候や進度状況等により一部変更することがある			
キーワード	バレーボール, ソフトボール, 水泳, 体力向上, コミュニケーションスキル向上, 保健		
	特になし		
参考書	特になし (※講義授業においては教材を教員が用意する)		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	保健体育		
現学年の関連科目	保健体育		
次年度以降の関連科目	保健体育		
連絡事項			
○保健体育は出席することが前提条件である (オリエンテーションで説明する保健体育の規定欠課数を超える者については評価の対象にしない)			
1. 実技中心であるが、最初の授業および雨天時等に保健に関する講義を行うことがある。			
2. 授業では、学校指定のジャージ, Tシャツ, 短パンおよび運動靴を必ず着用すること。それ以外は一切認めない。			
3. 授業時の無駄な私語, 身勝手な行動, 途中退出および非協力的態度などをとる学生に対しては単位を与えない。			
4. 前期は、水泳を実施するので、各自水着, 水泳キャップおよびゴーグルを用意しておくこと。(3年間使用)			
5. プールに一度も入らない者には単位を与えない。			
シラバス作成年月日	平成 27 年 2 月 20 日		